

資料 ⑨

平成 31 年 2 月 22 日

精華町地球温暖化対策地域協議会

バスロケーションシステムの導入について

当社では、バスの利用環境向上を図るため、奈良県と協同で一般バス路線全線にバスロケーションシステムを導入いたしました。

1. バスの現状

- ・道路渋滞などによる遅延発生時のバス待ちの時間が、通勤・通学客を中心にバス離れの原因の一つとなっている。
- ・遅延発生時に旅客が求めるリアルタイムな運行情報を把握できず、関係者間で情報共有も出来ないため、旅客案内が後手に回る。

2. 改善策

- ・路線バス車両に GPS を搭載し、スマートフォンを中心とした情報端末に対応可能なバスの現在地情報を旅客に提供する。

3. 運用開始

- ・1次運用 平成 30 年 3 月 26 日
奈良交通奈良営業所、平城営業所、京都営業所管轄路線ほか
GPS 搭載バス車両 276 両
- ・2次運用 平成 30 年 12 月 3 日
その他の路線
GPS 搭載バス車両 330 両

4. 画面イメージ

別紙のとおり

以 上